

北アルプス広域連合

■北アルプス広域連合広報紙 ■2025年10月2日発行
 ■北アルプス広域連合 ■長野県大町市大町1058-33
 北アルプス市町村会館内 Tel.0261-22-6764
 E-mail: kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

●大町市 ●池田町 ●松川村 ●白馬村 ●小谷村

北アルプス遊・交・学

[http:// www.kita-alps.omachi.nagano.jp/](http://www.kita-alps.omachi.nagano.jp/)

vol.92



松川村発祥の正調安曇節、100年の節目を迎える

松川村発祥の無形文化財「正調安曇節」が、誕生から100年の節目を迎えます。

正調安曇節は、村の医師・榛葉太生（しんは・ふとお、1883～1962）が、安曇地方を象徴する民謡がないことを惜しみ、同好の有志や村の人々とともに知恵を絞りながら創り上げました。

村では、保育園や小学校の運動会などで、子どもたちや保護者、地域の人々が一緒に正調安曇節を踊る取組が続けられており、文化の継承と次世代の育成にも力を入れています。

また今年は、「正調安曇節100周年記念事業」として、村内各地で安曇節を踊る様子を収録したDVDの制作や、榛葉太生の一生を題材にした、村民参加の舞台「安曇節ものがたり2025」の上演、そして正調安曇節の作詞募集などを進めています。

さらに、より多くの人たちに「正調安曇節」の魅力に触れてもらえるよう、村のお祭りや盆踊り会、音楽祭、成人式など、一緒に唄ったり踊ったりする機会を増やしています。

100年の時を超え、今なお村の歴史を受け継ぐ「正調安曇節」を、これからも大切に守り伝えていきます。



人口と世帯 北アルプス広域圏

（令和7年9月1日現在 長野県調べ）

人 口 53,230人

世帯数 23,406世帯

主な内容

- 広域連合議会 5月・8月定例会
- 令和6年度決算について
- 広域連合からのお知らせ
- 北アルプスエリアイベントカレンダー

議会

5月定例会開催

令和7年5月21日に5月定例会が開催されました。

報告案件4件、人事案件1件、事件案件2件の議案が上程され、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

組織に関すること

広域連合監査委員として、二條孝夫議員の選任について同意されました。任期は広域連合議員任期と同じです。

また、大田市並びに池田町の広域連合議会議員の申し合わせ任期満了及び白馬村議会の改選により広域連合議会議員の構成が新しくなりました。

専決処分の報告について

◇令和6年度補正予算について

▼一般会計(第6号)

▼介護老人保健施設事業特別会計(第5号)

▼介護保険事業特別会計(第5号)

▼老人福祉施設等事業特別会計(第5号)

いずれも事業実績に基づく計数整理

財産の取得について

水槽付消防ポンプ自動車の更新

消防救急デジタル無線回線制御装置の更新

市町村名 及び氏名 (敬称略)		所属委員会	議会運営委員会	ごみ処理特別委員会	福祉常任委員会	総務常任委員会
大町市	傳刀 健	【議長】	●	●		
	山本 みゆき	(新)		◎	○	
	二條 孝夫	【監査委員】	●	●		
	西澤 和保	(新)	●	●		
	栗林 陽一			○	●	
	小澤 悟	(新)	○	●		
	大和 幸久			●	●	
池田町	横澤 はま	【副議長】		●		●
	薄井 孝彦	(新)	●			
	服部 久子	(新)		●		
松川村	大和田 耕一			●		◎
	平林 泉		●			
	宮崎 昭利		●			
白馬村	太田 伸子			◎	●	●
	丸山 和之		●		○	
	切久保 達也			●	●	
小谷村	宮澤 正廣		◎		●	●
	柴田 友造			●	●	

※(新)：新たに選出された議員
◎委員長、○副委員長、●委員

一般質問(要旨・抜粋)

柴田 友造議員(小谷村)

「救急業務について」

出動件数及び推移は

答

各消防署の令和6年中の救急出動件数は、大町消防署で1840件、北部消防署が1052件、南部消防署は884件で、これは5年前の令和2年中と比較すると、大町署は465件で約34%の増加、北部署は284件で約37%の増加、南部署は136件で約18%の増加となり、すべての消防署で増加している。救急自動車1台当たりの増加率は約18%前後となっており、各署間での差はない。

高齢者と訪日観光客の割合については、令和6年中の出動統計によると、大町署で搬送した満65歳以上の高齢者の割合は、全搬送者の約78%、北部署では約50%、南部署については、約76%となっている。

また、訪日観光客の割合は、大町署が17人搬送し、率にして約0.9%、北部署は102人を搬送し、9.7%、南部署は1人もなく、管内全体では、5年前の令和2年の搬送人員人数と比較して、65人から119人に増加し、約1.8倍に増えている。

「消防職員の確保について」

問 消防職員の仕事量が増える中で人員は足りているか

答 総務省消防庁が示している消防力の整備指針に基づくと、基準数に対する当消防本部の職員充足率は64.4%で、地理的な環境や、出場状況に違いがあるため、単純な比較は難しいものの、県内消防本部の平均充足率の62.5%を若干上回り、現時点では出場体制は維持できている。今後、さらに適切な出場体制を維持するために、限られた人員の中でも安全かつ円滑な活動ができるように、教育訓練の充実や、隊員個々の技術力向上に努めている。一方で、育児休業の取得や、定年の引き上げに伴う高齢期職員の現場業務への対応や配置などの課題にも取り組む必要があり、そのため、職員の特性に応じた適材適所の配置に努めるほか、長期的な視点から、計画的な職員採用を進めたいと考えている。

「介護保険計画について」

問 第9期介護保険事業計画における認知症グループホーム、介護医療院についての公募状況と、特別養護老人ホーム整備の進捗状況について

答 特別養護老人ホームについては、すでに事業所が決定しており、短期入所から契約入所のベッド転換6床については令和7年

度に、増床の5床については令和8年度に整備される予定となっている。

現在、公募を継続しているのは、いずれも新設の認知症対応型共同生活介護の定員9人及び、介護医療院の定員19人以下の2件の整備である。認知症対応型共同生活介護、いわゆるグループホームは、認知症のある要介護者が少人数で共同生活を送ることにより、家庭的な雰囲気の中で、地域住民との交流を図りながら、職員による入浴、排泄、食事等の日常的な介護及び機能訓練を通じて、可能な限り自立した生活を営むことを目的とした住まいであり、整備のない町村での要望等を踏まえ、整備計画に搭載している。昨年度の公募状況は、1法人より相談があり、応募意欲も示していたが、当該法人の計画時点に比べて建設にかかる資材単価が高騰したことや、介護人材確保の困難さに加え、利用者負担への価格転嫁の限界等が支障となり、結果として応募には至らなかった。

また、介護医療院は、介護老人保健施設と同様に、医師が施設長を務める施設であり、長期にわたる療養を必要とする方々を対象として、医療体制を強化し、医療上の措置や臨床検査、調剤などを行う診療室や処置室を備えた施設である。医療ケアが必要な状態で退院される要介護者もいる中で、近隣にない施設であることから、一定の利用ニーズが見込め見込めるものの、人員や設備基準により、開設が可能な法人はある程度限定されるところことから、施設整備は厳しい状況が予測される。

令和7年度においては、これら2種類の公募を6月から9月にかけて実施することとしており、これまでの低調な応募状況を踏まえ、本年2月定例会の全員協議会での意見や、関係市町村との協議に基づき公募を広く周知することとし、本年6月の公募開始に先立ち、県内で介護サービス事業を運営する社会福祉法人等、101法人に対し、公募案内を郵送した。圏域の内外を問わず、幅広く、意欲ある法人からの応募に期待しているところであり、意欲を示す法人等があった場合には、速やかにヒアリング等を行い、地域に必要な整備に繋がるよう努めていく。

山本 みゆき 議員（大町市）

「再資源化を進める広域でのごみ処理について」

問 プラスチック製品の分別回収について資源物として出してよいものは

答 プラスチック製品の分別収集については、原則として100%プラスチック素材でできている製品のみを資源物として出すことができ、大きさについては、厚さが5ミリ以下のものを対象としている。また、自治会等の回収拠点では、長さ50センチ以下のものという制限を設けている。

なお、エコパーク、大町リサイクルパーク及び白馬リサイクルセンターでの回収については、

50センチを超える長さのものであっても、回収が可能となっている。

具体的な回収品目については、これまで可燃ごみとして扱っていた衣装ケースや発泡スチロール製の箱のほか、クリアファイル、CDやDVDの記録媒体とそのケースなどが挙げられる。

問 観光客増加に伴う北アルプスエコパークの稼働と今後の展望は

エコパークでの可燃ごみの受入れ状況は、現在、当地域の人口減少の影響を受け、生活系ごみは緩やかな減少傾向にある一方で、事業系ごみは増加傾向を示している。これはコロナ禍以降、インバウンドの回復に伴う経済活動の活性化が一因と考えている。

事業系ごみの搬入量は、新型コロナウイルスが5類へ移行された令和5年度以降、毎年、前年度比で約5パーセントの伸びを示しており、今後についても引き続き、インバウンド需要の好調が見込めることから、当地域を訪れる観光客の増加に伴い、事業系ごみの増加傾向は継続するものと想定している。

問 可燃ごみへの不燃ごみの混入防止対策と分別方法の周知について

不燃ごみの混入防止対策として、3市村と広域連合の広報紙において不適物を写真付きで紹介するなど、定期的に混入防止の記事を掲載し、啓発を図っている。また、エコ

パークでは生活系、事業系ごみを問わず、搬入されたごみの展開検査を広域連合と3市村の職員立ち会いのもと月に1度実施しており、処理不適物の混入が見受けられた際には随時指導を行い、注意喚起を図っている。

また、分別方法の周知徹底については、エコパーク及び大町リサイクルパーク、白馬リサイクルセンターにリサイクル指導員を配置し、住民の皆様が分別方法の判断に迷うような際には、その都度、丁寧に説明しているほか、3市村で作成している、ごみの種類別に50音順で分別方法をわかりやすく紹介した「ごみの分別方法の手引き」などを参考にさせていただくように周知に努める。

平林 泉 議員（松川村）

「北アルプス広域内で大地震が発生した場合の対応は」

消防本部の対応方法の重点項目は

問

消防本部や各消防署、通信指令室の被害状況を速やかに確認するとともに、指揮命令機能や出動体制が的確に維持されているかを把握することが最優先となる。2つ目として

では、当本部では大北地域で震度5以上の地震が発生した場合、または地震により被害が発生した際には、自主参集体制が発動され、参集した職員や各消防署の施設設備の被害状況を踏ま

えた上で、速やかに出場体制を確立する。3つ目としては、発災直後に多数の119番が集中することが予想されるため、着信順に一律に対応するのではなく、火災や人命救助など、優先度の高い事案から順に選択的に対応していく。

4つ目としては、こうした現場活動と並行して、道路の被災状況や、避難所の開設状況など、県や市町村と連絡を密にして、管内の被害状況を把握するための情報収集を進める。最後に県内外において、震度6弱以上が観測された場合には、あらかじめ定められた計画に基づき、県消防相互応援隊や、緊急消防援助隊が迅速に出勤する体制となっており、仮に当圏域内に甚大な被害が発生した際には、進出ルートや、部隊の拠点となる場所の確保など、円滑な受援体制の確立を図ることに力を尽くしていく。

問

消防本部と市町村消防団等との連携について

答

消防本部では、各市町村の消防団や関係市町村との関係強化と情報共有を図るため、北部、中部、南部の各地区に消防連絡協議会を設置し、定期的な会議や意見交換の機会を設けている。また、圏域内の消防団相互の関係を強化するため、消防協会が設置されており、当本部も参画し毎年、訓練等を実施している。これに加え、各市町村が実施する地震や火災予防等の防災訓練においては、職員を派遣し消防団と協働を図る中で技術的な支援や訓練指導に努めている。

8月定例会開催

令和7年8月21・22日の2日間にわたり8月定例会が開催されました。

決算案件5件、予算案件5件の議案が上程され、いずれも原案のとおり承認・可決されました。

令和6年度決算状況

各会計の決算額及び歳入歳出額については、次のページのとおりです。

歳出決算額の前年度対比は、下表のとおりとなりました。



令和7年度補正予算

▼一般会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正、市町村負担金の精算が主なもの。

▼ふるさと市町村圏事業特別会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正。

▼介護老人保健施設事業特別会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正、設備修繕料の増額が主なもの。

▼介護保険事業特別会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正、市町村負担金の精算、過年度分介護給付費交付金償還金及び給付準備基金積立金の増額が主なもの。

▼老人福祉施設等事業特別会計（第1号）

前年度決算による繰越金の確定に伴う補正、市町村負担金の精算及び鹿島荘管理費の増額が主なもの。

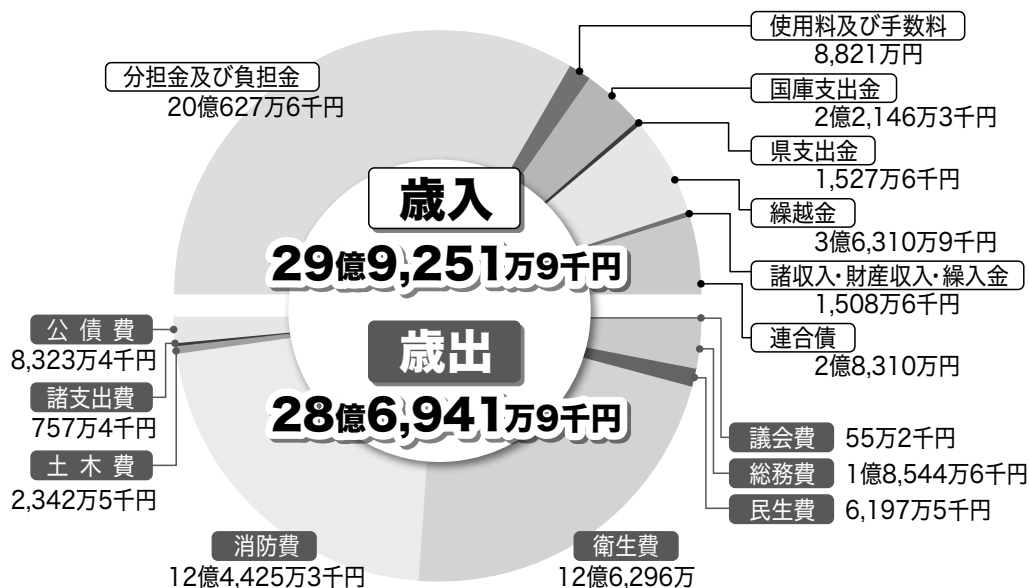
会計名	歳出決算額	対前年度比
一般会計	28億6,941万9千円	17.6%
ふるさと市町村圏事業特別会計	1,063万4千円	△62.3%
介護老人保健施設事業特別会計（虹の家）	2億7,426万6千円	△6.5%
介護保険事業特別会計	71億7,612万2千円	1.9%
老人福祉施設等事業特別会計 （鹿島荘・ひだまりの家）	1億9,249万3千円	14.7%
総計	105億2,293万3千円	5.5%

（注）各会計の合計額と総計欄の額とは、千円未満の調整により差異があります。

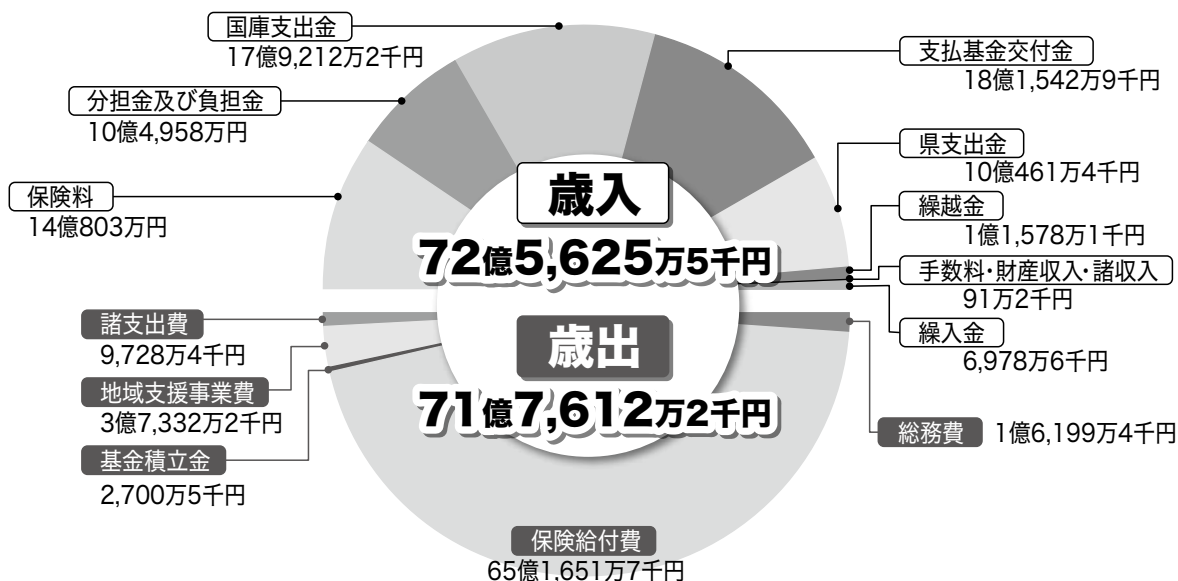
令和6年度広域連合各会計の決算状況について

一般会計（広域事務局、北アルプスエコパーク、広域消防、葬祭場他）

事業費内容	
議会費：	議会開催のための費用
総務費：	広域連合事務局の運営費等
民生費：	障害支援区分認定審査会費、 低所得者保険料軽減事業費等
衛生費：	葬祭場運営費、エコパーク運営費、 ごみ処理広域化推進事業費等
消防費：	消防救急業務運営費
土木費：	市町村が行う公共土木工事 設計監理費用
公債費：	地方債償還金



介護保険事業特別会計



ふるさと市町村圏事業特別会計

■歳入 (単位：千円)	
財産収入	302万9千円
繰入金	757万4千円
繰越金	512万4千円
合計	1,572万7千円
■歳出 (単位：千円)	
ふるさと市町村圏 振興事業費	1,063万4千円
合計	1,063万4千円

介護老人保健施設事業特別会計

■歳入 (単位：千円)	
療養介護費収入	2億5,716万4千円
繰越金	242万9千円
諸収入・財産収入・寄附金等	68万1千円
分担金・負担金	1,714万4千円
合計	2億7,741万8千円
■歳出 (単位：千円)	
介護老人保健施設 事業費	2億7,426万6千円
合計	2億7,426万6千円

老人福祉施設等事業特別会計

■歳入 (単位：千円)	
分担金・負担金	1億7,074万1千円
サービス収入	3,654万5千円
繰越金	2,251万5千円
諸収入・財産収入・寄附金等	175万6千円
合計	2億3,155万7千円
■歳出 (単位：千円)	
民生費	1億9,249万3千円
合計	1億9,249万3千円

(注) 各会計の合計額は、千円未満の調整により差異があります。

消防

広域消防からのお知らせ

マイナンバーカードを活用した
救急業務の円滑化
(マイナ救急)について

総務省消防庁では、救急隊が傷病者の健康保険証利用登録をしたマイナンバーカード(以下「マイナ保険証」という)を活用し、病院選定等に必要な情報を把握する取組(以下「マイナ救急」という)を進め、令和6年度から全国の一部の消防機関で実証事業を行ってきましました。この度、令和7年10月を目処に全国の消防機関が参加して実証事業を実施することとなり、北

アルプス広域消防本部の全救急隊も、この実証事業に参加することとなりました。

マイナ救急の簡単な流れは、119番通報を受けた際、電話対応した指令員から傷病者に対して救急隊が到着するまでにマイナ保険証を用

意しておく等の依頼をします。到着した救急隊はマイナ保険証を確認し、専用の読み取り機により医療情報を読み取ります。その情報をもとに適切な病院を選定するとともに情報を伝え、病院では治療の事前準備を始めます。

マイナ救急を利用するためにはマイナンバーカードに健康保険証利用登録すること、マイナンバーカードを常に携帯することが重要です。また、暗証番号等が分かると、更にスムーズに情報を得られます。詳しくはQRコードから総務省消防庁が作成したショートムービーを御覧ください。



福祉施設

広域連合の施設だより

《介護老人保健施設 虹の家》

伝統の流鏑馬、来たる

7月27日、毎年恒例となっている大町市仁科町・南原町の「子供流鏑馬」の皆さんが、虹の家を訪れてくださいました。町内を巡行する一行が正面玄関前に到着すると、凛々しい姿で馬を操り、弓を放つ勇壮な演武を披露。利用者の皆さんからは大きな拍手が送られました。

特に白馬や小谷の利用者さんの中には、流鏑



馬を初めて目にする方も多く、「本当に感動しました」と目を輝かせていました。また、「祭りに出かけるのは難しいけれど、ここまで来てくれてありがたいね」と喜びを語る声も聞かれ、地域の伝統文化に触れる貴重なひとときとなりました。

真夏の日差しの下、馬にまたがる子供たちは汗をにじませながらも真剣な表情で矢を放ち、そのひたむきな姿は見る人の心を打ちました。地域の若い力が紡ぐ伝統の重みと未来への希望を感じさせる一日でした。

北アルプスエリア Winter Season EVENT CALENDAR

詳しくは、各市町村または角市町村の観光協会・観光局・観光連盟等へお問い合わせください。 《市外局番 0261》

10月	10月～11月頃	おたり新そば祭り 参加店舗 小谷村観光連盟 ☎ 82-2233 https://info-otari.jp/	村内数店舗で新そば粉使用のお料理をご提供。 お食事をして貰えるスタンプを集めて応募すると、 抽選で豪華景品が当たります。
	10月26日(日)	北アルプス山麓・りんごの小径 ウォーキング秋 安曇野ちひろ公園 松川村観光協会 ☎ 62-6930 https://www.matsukawamura.com/	地元ガイドの案内で秋の松川村川西地区を歩きます。 りんごのもぎ取りなどお楽しみいただけます。 (有料・要予約)
	10月31日(金)～ 11月3日(月・祝)、 7日(金)～9日(日)	霊松寺紅葉ライトアップ～光の幻想～ 霊松寺 山門・境内・池の庭 大町市地域振興部観光文化課観光企画係 ☎ 22-0420	紅葉の名所、長野県最古の曹洞宗寺院「霊松寺」 で紅葉を美しく照らすライトアップイベントを開催します。 観覧無料です。
	10月25日(土)～ 11月3日(月・祝)	信州安曇野松川村 新そば祭り 参加店舗 松川村観光協会 ☎ 62-6930 https://www.matsukawamura.com/	期間中、参加店のスタンプを集めて応募すると、 抽選で豪華賞品をプレゼント
11月	11月1日(土)	あづみ野いけだまちワインまつり2025 池田町クラフトパーク ワイン祭り実行委員会 ☎ 62-3127	北アルプスを望みながらワインを楽しむイベント
	11月2日(日)	第12回松川村米蔵日本酒まつり 松川村収蔵庫 米蔵日本酒まつり実行委員会 ☎ 62-3109	県内有数の酒米生産地、米どころ松川を象徴する お祭り。県内各地の酒蔵から自慢のお酒が集ります。 (要入場券)
	11月8日(土)	安曇野まつかわ秋祭り収穫祭 道の駅安曇野松川寄って停まつかわ 収穫祭実行委員会 ☎ 62-3109	秋の実りに感謝し、収穫の喜びを分かち合うイベント。 農産物の販売、模擬店、餅まき、ステージ イベントなどを開催予定。
12月	12月7日(土)	第10回はつゆきコンサート ウィング21 白馬村生涯学習スポーツ課 ☎ 85-0726	地域で音楽活動を行っている皆様の演奏機会を設 けるとともに、より身近に音楽に触れられる機会 を創出する事を目的にしたコンサート。
令和8年2月～3月	2月 毎週土曜日 7・14・21・28日	第24回大町温泉郷 夢花火と音の祭典2026 大町温泉郷観光協会 大町温泉郷観光協会 ☎ 22-3038	～幻想的に光輝く冬のファンタジー～ 冬の凛と した寒さの中に勇壮な太鼓の演奏と打上花火の饗 宴。会場で、毎週キッチンカーの販売もあります。
	2月上旬	大綱雪と火の祭り 小谷村大綱地区 小谷村観光連盟 ☎ 82-2233	古来の山岳信仰から生まれた独特の風習が息づく 火祭りが、大綱地区阿弥陀ヶ原会場で行われます。
	3月上旬	榑池高原 雪の祭典 つがいけマウンテンリゾート 榑池高原観光協会 ☎ 83-2515	冬のHAKUBA VALLEY最大級のイベント。つがい けマウンテンリゾートの鐘の鳴る丘ゲレンデにて 開催され、打ち上げ花火等の催しが行われます。
	3月中旬	まつかわ花咲きまつり 安曇野ちひろ公園 まつかわ花咲きまつり実行委員会 ☎ 62-3109	パンジーを使用した地上絵の展示と即売会。 ステージイベントや模擬店、マルシェなどを同時 開催。

イベントが急遽変更、中止となる場合があります。
開催の可否等、事前にイベント主催者へお問い合わせをしてからご参加ください。